

プラスチックについて考えてよう

身边で便利なプラスチック。でも自然界ではなぜか“やっかいもの”に。私たちの生活になくてはならない

「プラスチック」って、何？

○ とても便利で身近な存在

いまや生活に欠かせないプラスチック。
あらゆるところで幅広く活用されています。



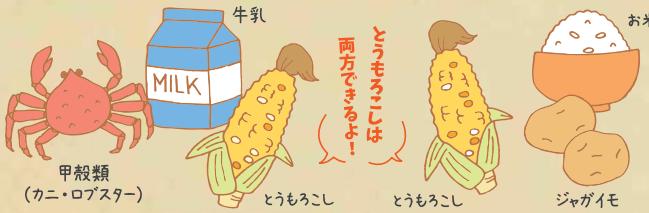
✗ 処分する際のやっかいもの

再利用率が低く、石油から作られているため、燃やすとCO₂が発生。地球温暖化にもつながります。自然分解はほとんどされません。



—バイオプラスチックって、どんなもの？—

プラスチックの代替素材として注目されているのが、バイオプラスチックです。微生物によって自然に還ることができる「生分解性プラスチック」と、再生可能な有機資源を原料に製造される「バイオマスプラスチック」があります。日用品や工業製品への応用も始まっていますが、プラスチックに取って代わるには、まだまだ研究途上です。

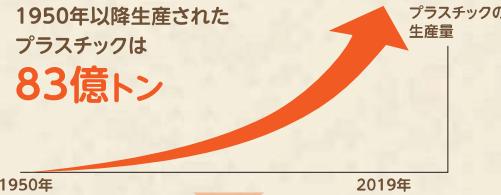


生分解性プラスチックの原料

バイオマスプラスチックの原料

世界のプラスチックの現状

ごみとして回収されたプラスチックのリサイクル率はわずか9%。79%は埋め立て、あるいは、海洋などへ自然投棄されています。



ごみとして回収された
プラスチック
63億トン



そのうち**79%**が
埋め立てや
海へ投棄されている

出典: 環境省 プラスチックを取り巻く国内外の状況 2019年(2月)

いものだからこそ、より良い付き合い方が求められています。

海に捨てられたプラスチックはどうなるの？

自然分解しないプラスチックは、ごみとしていろいろな問題を起こします。ごみがあれば景色は悪くなり、海の生き物が間違って食べると生態系にも悪影響を与えます。



私たちにできることって、何？

私たちにできるごみの分別と「3R」

プラスチックを全く使用しないことはほぼ不可能。プラスチックごみそのものを、私たちの身の回りから減らしていくことが、エコ活動の第一歩になります。

今できることから始めてみませんか？

ごみになるものを減らす

Reduce (リデュース)



マイバッグ

詰め替えパック

フリーマーケット

水筒

マイクロプラスチックって何？

大きさが5mm以下の小さなプラスチックのこと。

ペットボトルなどのプラスチックは波の力や紫外線の働きでどんどん細かくなっています。それを

海の生き物が食べてしまうと、必然的に私たちの体内にも入ってきます。



繰り返し使う

Reuse (リユース)



リサイクル用回収ボックス

資源ゴミ

水筒

ごみとして再利用する

Recycle (リサイクル)



リサイクル用回収ボックス

資源ゴミ

水筒

実験 牛乳から



※大人と一緒に作ってください。

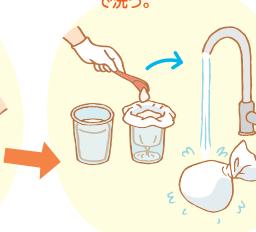
生分解性プラスチックを作ってみよう！

沸騰させた牛乳に、酢を一滴ずつ加え、スプーンでかき混ぜる。かたまりが見えてくるまで繰り返す。



※大人と一緒に作ってください。

かたまりができたらスプーンでくちびるから取り出しちゃう。ガーゼで包み込んでお湯で洗う。



※熱いので、十分水にさらして触る。

そして、ガーゼから取り出したかたまりを、キッチンペーパーの上で転がし、水分をしっかり取る。



※ポンと音がすることがあります。

さあ、いよいよ先ほど作ったかたまりを抜き型に入れ、成形されたものを耐熱性容器の中へ。その後、レンジでチン。しっかりと固まるまで「1分間の加热」を繰り返す。固くなったら完成！



牛乳の
タンパク質からできた
プラスチックだよ！